

平成 27 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■ 自主研究 17
主査名	大森宣暁 ・ 宇都宮大学大学院工学研究科球環境デザイン学専攻 教授
研究テーマ	少子高齢社会における子育てしやすいまちづくりに関する研究
研究の目的: 本研究は、我が国の社会的文化的特性を反映した少子高齢社会における子育てしやすいまちづくりのあり方を、都市・交通・建築・福祉・教育等、幅広い視点から総合的かつ具体的に検討することを目的とする。	
研究の経過(4月～9月): 上半期は、6月に九州大学で開催された第51回土木計画学研究発表会において、「子育てしやすいまちづくり」セッションを企画し、研究会メンバー以外の参加者を交えて、子育て世帯の生活の質向上に資する都市・交通施策に関して多様な視点から議論を行った。また、計1回の研究会を開催し、ゲストスピーカーによる講演「都市構造、就労形態、支援施設の一体的整備による子育て支援環境の構築」と議論、土木計画学研究発表会での研究発表・質疑についての報告、大都市と地方都市での子育て環境の違い等について、多様な視点から議論を行った。 別途、昨年、宇都宮市内の3保育園で実施した、子育て共働き世帯の家事・育児の役割分担の実態や意識に関するアンケート調査データの分析を進めた。	
下期へ向けて(課題等): 引き続き、子育て世帯の生活の質向上に資する都市・交通施策のあり方、多様な主体間の適切な連携・役割分担、子育てに対する人々の理解を醸成するための手法の検討等を、今後の研究課題に挙げる。また、昨年、土木学会土木計画学研究委員会内に設置した「少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり研究小委員会」とも連携を取りながら、研究を進めていきたいと考えている。	
研究メンバー(敬称略): 大森宣暁(主査・宇都宮大学) 原田昇(東京大学) 秋山哲男(中央大学) 長谷川万由美(宇都宮大学) 張峻屹(広島大学) 八藤後猛(日本大学) 松村暢彦(愛媛大学) 寺内義典(国土館大学) 谷口綾子(筑波大学) 真鍋陸太郎(東京大学) 西本由紀子(神戸女子大学) 石神孝裕(計量計画研究所) 有賀敏典(国立環境研究所) 高柳百合子(国土交通省) 松原淳(交通エコロジー・モビリティ財団) 飯島玲子(パシフィックコンサルタンツ) 青野貞康(計量計画研究所) 澤野宏(国土交通省) 海老敬子(厚生労働省) 杉浦美奈(国土交通省) 長野博一(荒川区)	